

専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第3回教育文化スポーツ部会
開催日時	平成28年2月18日 18時30分～ 20時10分
開催会場	名寄市民文化センター2階視聴覚室
出席委員	熊谷部会長、早川副部会長、宮澤副部会長、若槻委員、室委員、白井委員、土肥委員、高儀委員、東委員
事務局出席者	小川部長、湯浅次長、河合課長、金谷参事、倉澤課長、仙谷主幹、高島主幹、中山参事、鈴木館長、芝野館長、佐野台長、石橋課長、岡村支所長、小笠原センター長、松島局長、茂木課長、企画課菊池主査
審議事項	第1次総合計画検証
発言内容	<p>5-1 生涯学習社会の形成</p> <p>■委員 ジャックと豆の木事業について概要を知りたい。</p> <p>○事務局 新たな団体の立ち上げや更なる活性化などに活用していただくため、上限2万円の補助事業で社会教育団体を支援している。今年度の実績は1件。</p> <p>5-2 幼児教育の振興</p> <p>■委員 保育所の開所時間早めることはできないか。</p> <p>○事務局 保育所は7時から18時が基本である。保育所と幼稚園は時間が異なるので、出勤時間が早い場合は、保育所を選択して欲しい。</p> <p>■委員 認定保育園は、7時から対応している。7時前の開所には、国の認定も必要であるとともに、国・市の補助が無いと難しい。しかし、ニーズ調査では7時前からの開所のニーズは無かった。</p>

■委員

保育園はいつでも入れるのか？

○事務局

保育所の受入は3歳未満児と3歳以上児で異なる。現在、0歳児が特にギリギリである。年度末は特に急な入所は厳しい。3歳以上児は受入れに余裕がある。

■委員

幼保一元化はどうなっているのか？

○事務局

27年度から大幅な制度改正があった。

幼稚園就園奨励金は、保護者の収入階層で異なり、新制度は幼稚園ごとに金額が異なる。一度支払って返金するか、初めから安く設定して返金なしなのか、が大きな違いである。

■委員

金額は今後、一律になるのか？指導していくのか？

○事務局

保育料は経営判断であり指導はできないが、地域的に均衡すると予測している。

5-3 小中学校の教育の充実

■委員

学校の統廃合や廃校舎の利活用は、今後精査が必要になると考えている。

■委員

小学校と中学校の校区が異なるが、校区の境に変更がないのか？

○事務局

小学校と中学校の校区の一本化はできてはいない。

■委員

学力が向上しているようだが、学校力はどうか？どのように教師は努力をしているのか？また学校を自由に選択することは可能であるのか？

○事務局

学力向上に向け、市内全小中学校の校長・教頭と1～4名程度の教員が、3つの研究グループで研究授業を実施し、名寄市教育改善プロジェクトを推進している。また、学校力向上に向け名寄小学校が実践指定校8校の近隣実践校とともに取組を進めることで、市内小中学生の学力・体力ともに向上している。

義務教育では通学区域を定めることになっている。名寄市では、希望が偏ることが危惧されることから、自由選択制にはしていない。自由選択制ではないが、特認校制度はある。(小学3校、中学2校)

■委員

学力格差と経済格差を名寄市としてどう考えているか？

○事務局

学校教育では貧困格差がでないよう、就学援助費などの支援策がある。学校でしっかり教育を受けることができるよう、今後も取り組む。

5- 4 高等学校教育の振興

■委員

道立高校配置適正化の期限近いが何か考えがあるのか？

○事務局

間口問題は中卒者数などを加味し道教委が決定している。道教委はH31上川北学区で1～2間口を削減するとしている。間口確保及び人材育成をできるように要望していくことを検討している。

5- 5 大学教育の充実

■委員

市立大学の入学について、名寄市内で指定校の枠を持っているのか？

○事務局

定員の4割が推薦入学であり、上川北部にも一定の割合で地域枠を設定している。

5- 6 食育の推進

■委員

市立大学で栄養師が栄養教諭を取れる講座や聴講生受け入れがあれば良いと思う。働きながら、キャリアアップできる取組支援をお願いしたい。また、幼稚園への給食外部配給など検討をお願いしたい。

○事務局

栄養教諭と栄養師のいずれかしか資格保有していない方が、両方取得できるように、美深町からも要望受けている。市立大学に設置するコミュニティーケア教育研究センターでも検討していきたい。

小中学校と幼稚園では食事時間が異なるため、作業工程、人員、配送などクリアしていくべき課題がある。現状では、すぐには難しい。

■委員

農家のためにもなるので、地元の食材を使っていたきたい。

5- 7 家庭教育の推進

■委員

企業との取組は具体的なものがあるのか？

○事務局

北海道道教育委員会が主導で、家庭教育サポート企業という制度があり、市内で16企業が認定されている。

5- 8 生涯スポーツの振興

■委員

西風連スキー場の利用実績は？

○事務局

リフト利用は年間平均、年47,000人から48,000人で推移している。
今年度は12月が小雪であったが、斜面が牧草であるため着雪が早く、スキー場オープンが早かったことで、例年比1割増加が見込まれる。

5- 9 青少年の健全育成

■委員

放課後児童クラブ利用料の格差（民間・公立）はどれくらいあるのか？

○事務局

公立が4,000円、私立が11,000円程度で金額が異なるが、開所時間含め受入内容も異なるのが現実である。

5- 10 地域文化の継承と創造

■委員

文化協会の統合検討について、具体的な動きがあるのか？

○事務局

統合に向けた協議を行った経緯があるが整わなかった。合併から10年になるので、文化協会に限らず、市内に複数ある団体を、より一体的な活動ができるように、統合を視野に入れながら検討をしていく。

決定事項等

・次回から施策検討を行う。しかし、次回も質問は受けていく。

・2月29日に市議会が開会することから、次回の専門部会は3月15日以降に部会長と相談して開催したい。